

第1回学校運営協議会 5/14（火） 青嵐中学校 10:00～

- (1) 校長挨拶 青嵐中学校 湯浅校長
栄小学校 佐藤校長

- (2) 委員自己紹介・委嘱
委員長 今井文男

- (3) 学校概要説明 「学校経営方針について」
栄小 佐藤校長より
青嵐中 湯浅校長より 両校とも承認

- (4) 説明「コミュニティ・スクールについて」 事務局 佐久間より
コミュニティ・スクールの3つの機能等（別紙資料あり）

- (5) 質疑応答

(大友) 大人が考えるイベントになってしまうことが多い。
地域から様々な意見があると良い。

(佐藤) 子どもたちの意見が反映できるのが良いか。

(大友) PTAや学校組織と活動しているので、学校側・地域からの意見がほしい。

- (6) 今後の予定について 事務局 佐久間より

年間5回の開催を予定している。

次回以降 7/2 10/18 12/17 2/18

小中で共同開催できるもの、小中で継続的にできるものなどを協議できるとよい。

開催通知はそれぞれの学校から送付する。早めに連絡すること。

時間については保一小との兼ね合いで決定する。

(竹林) 下校の際、小学校低学年が遊びながら歩いていて危険である。

交通擁護員の役割はどこまでなのか。見守りだけか、注意だけか。

(田中) 学校から教育委員会へ報告すると良い。

(佐藤) 学校から児童への安全指導は行っているが、引き続き行う。

(有本) 交通擁護員へのルールもあるようだ。地域の力が必要である。

(西原) 子どもに対して注意できる地域になることがコミュニティ・スクールの意義ではないか。

(田中) 高齢者クラブにも協力を得ることができるかもしれない。地域で子どもたちを見守ることが大切だ。